



中部電力パワーグリッド



2023年度出力制御見通し

2023年8月3日
中部電力パワーグリッド株式会社

○ 2023年度の再エネ出力制御量について、再算定を実施した。

【算定条件】

○ 第43回系統WG（2022年11月30日）で報告した際の考え方をベースに以下の点を見直し。

7月以降の見直しについては、2023年4月から6月の需給実績、太陽光・風力の設備量、連系線活用量の実績などを踏まえ、以下の点を修正するとともに、揚水の作業計画を見直した。

○ 需要：前回計画より4%程度減少

○ 太陽光・風力設備量：前回計画より3%程度増加

○ 連系線活用量：3連系線の運用容量合計の20%分受電

○ 供給力：揚水の作業計画を最新の計画に修正

2023年度短期見通し(見直し)について

<2023年度出力制御見通し>

	出力制御率 (制御電力量) [太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償ルール	制御対象設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2023年度見込み	0.64% (5,616万kWh) [太陽光:0.67%] [風力:0.20%]	0.18% (45万kWh) [太陽光:0.18%] [風力:- ※3]	0.21% (598万kWh) [太陽光:0.21%] [風力:0.20%]	0.27% (72万kWh) [太陽光:0.30%] [風力:0.08%]	0.52% (6,331万kWh) [太陽光:0.54%] [風力:0.19%]	0.26% (4,097万kWh) [太陽光:0.26%] [風力:0.16%]
(参考) 2023年度 エリア全体オンライン化	0.26% (1,503万kWh) [太陽光:0.27%] [風力:0.21%]		0.27% (1,649万kWh) [太陽光:0.27%] [風力:0.21%]	0.26% (69万kWh) [太陽光:0.26%] [風力:0.24%]	0.27% (3,221万kWh) [太陽光:0.27%] [風力:0.21%]	0.20% (3,221万kWh) [太陽光:0.21%] [風力:0.18%]

※1 オンライン代理制御分を含む。オンライン代理制御分は、オフライン相当の8時間停止に換算した値。

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する制御量の割合。

※3 対象設備なし ※4 四捨五入の関係で数字が合わない場合がある。

<2023年度出力制御見通し(全設備)の内訳>

	実績	見通し	
	4~6月	7~3月	年度合計
全設備	0.78% (3,520万kWh) [太陽光:0.78%] [風力:0.57%]	0.05% (577万kWh) [太陽光:0.05%] [風力:0.06%]	0.26% (4,097万kWh) [太陽光:0.26%] [風力:0.16%]

2023年度当初想定に対する増減分析

○ 2023年度当初想定と比較し、主に連系線受電量の増加、需要の減少等の理由により出力制御が増加する見込み。

項目	内容
太陽光・風力	<ul style="list-style-type: none">・当初想定と比較して設備量が3%程度多く、日照時間も多かったこと等から、4～6月の太陽光発電量は月平均で8%程度増加。・設備量の増分を反映し、再算定実施。
連系線	<ul style="list-style-type: none">・4～6月の再エネ抑制実施日の連系線活用量が、当初想定0%から平均20%程度受電方向に増加。・20%受電で再算定実施。
揚水・原子力・火力	<ul style="list-style-type: none">・出水制約等により、4～6月の再エネ抑制実施日の揚水可能量が平均当初想定と比較して30%程度減少。・最新の作業制約を踏まえ、揚水可能量を修正し、再算定実施。
需要	<ul style="list-style-type: none">・当初想定と比較して、4～6月の月平均で4%程度減少。・節電等の影響により、この傾向が継続すると仮定し、当初想定から一律4%減少させて再算定実施。
その他	<ul style="list-style-type: none">・当初想定において、水力を過少に想定していたため、再算定実施。

電源（太陽光、風力）のオンライン化

- 旧ルール事業者に対して、訓練などの機会を捉えオンライン化のメリットを説明し、出力制御機能付PCS等への切替の促進活動を継続して実施していく。

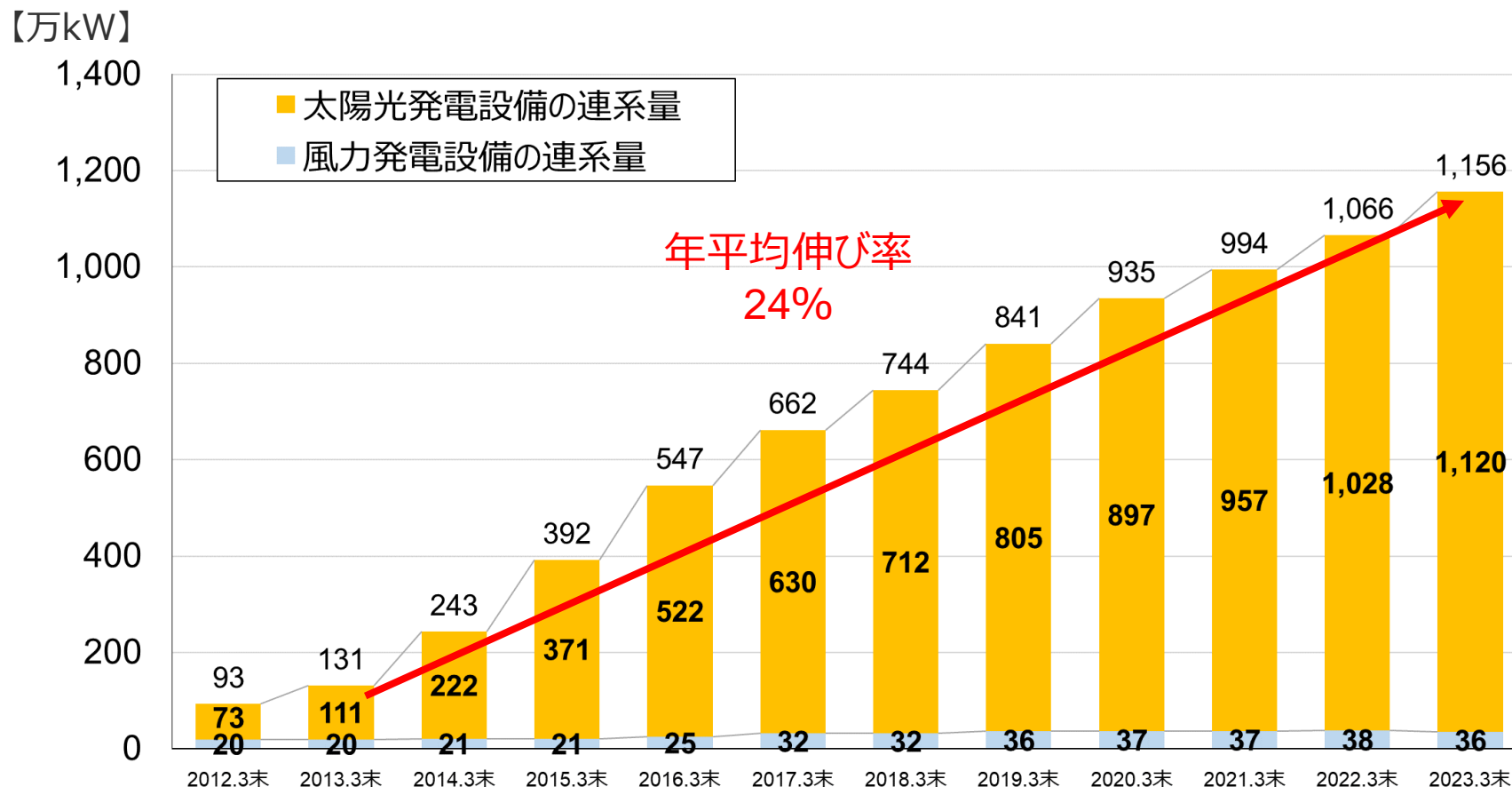
項目		2023年3月末	(参考) 2022年8月末
太陽光	① オンライン化率 $((② + ④) / (② + ③ + ④))$	43.8%	39.0%
	② 新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	166.2万kW	139.0万kW
	③ 旧ルール、オフライン事業者	232.4万kW	238.2万kW
	④ オンライン制御可能な旧ルール事業者	15.0万kW	13.1万kW
	⑤ 旧ルール事業者のオンライン切替率 $(④ / (③ + ④))$	6.1%	5.2%
風力	⑥ オンライン化率 $((⑦ + ⑨) / (⑦ + ⑧ + ⑨))$	0.0%	0.0%※1
	⑦ 新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	—	—
	⑧ 旧ルール、オフライン事業者	34.9万kW	36.5万kW※1
	⑨ オンライン制御可能な旧ルール事業者	—	—※1
	⑩ 旧ルール事業者のオンライン切替率 $(⑨ / (⑧ + ⑨))$	0.0%	0.0%※1

※1 前回までは、風力⑨として0.9万kWを報告してきたが、正しくは風力⑧の加算対象であったため、修正。

※2 「旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者。新ルール・無制限無補償ルール事業者（太陽光は、10kW以上）」について算定。

(参考) 再エネの導入状況

○ 中部エリアの太陽光・風力発電設備の連系量は、2023年3月末で1,156万kW（太陽光1,120万kW、風力36万kW）となった。



余剰買取制度 →
RPS制度 →

FIT制度 →



中部電力パワーグリッド